

ニュースキャスターになろう！

【内容】第二次世界大戦について調べ、スライドを使用して他の生徒に紹介する。

【使用アプリ】スライド

【事例紹介】

3年社会科で第二次世界大戦について学習した。生徒は戦争のはじまり、戦争の悲惨さ、戦時下の人々の生活、戦争の終結の4つのテーマから1つのテーマを選択し、班で協力して調べ、ニュースの報道のように他の生徒に紹介する活動を行った。NHK for School より該当するテーマに合った動画を視聴し、班で話し合いながら報道用の原稿（紙）とスライドにまとめていった。スライド作成に当たっては、

- 文章を短くする
- 強調したいところに色を付ける
- 画像や動画を挿入する

という点に気を付けるように指導した。また、報道（発表）に関しては、

- 班の全員が原稿を読む
- 報道は5分以内とする
- 内容について班の全員がコメントをする

という点に気を付けるように指導した。



【終わりに】

生徒はニュースキャスターになりきり、報道することができた。原稿を読み上げる声の小さかったり、テンポが速かったりする等、課題はあるものの、他者に分かりやすくスライドを作成することができた。今後も ICT 機器を活用して言語活動を充実させていきたい。

☆教育委員会主幹講評☆ 授業の中で紙媒体による原稿作成をした場合、調べる人、文章を書く人、色を塗る人等の作業分担になることがあり、一つのシートの内容への理解という点では薄いものとなることがあります。しかも、作業内容にも軽重ができ、全員の学習の深まりが期待できないこともあります。今回のように「スライド」で原稿を作成する場合、シートを割り当てることで、一斉に作業ができ、効率的であるとともに、一つのシートを班員それぞれが責任を持って仕上げるすることができます。また、シートを共有することで、作業中に助言し合うこともできます。このように班で協働学習し、その成果をプレゼンすることで今後も言語活動の充実に取り組んでもらいたいと思います。